

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391100225
事業所名	プレミアムグループホームフレンズハウス小川

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 法人と事業所共に町内会に加入し、地域の福祉や防災の拠点となっている。回覧等で情報を得て、地域防災センターでの防災訓練や近くの神社の行事には参加している。多目的室で開催している認知症カフェは再開し、地域の方の訪れを心待ちにしている。併設のユニオンチャイルドの児童発達支援や放課後デイサービスに通う児童とプレゼント交換での交流は、状況を見ながら開催をして行く方向にある。小・中学校・保育園などとの交流は、再開や実施を考慮している。子ども110番の家や日々の散歩で行き交う地域の方々と挨拶を交わしたり、花や野菜などのお裾分けを頂いたり、地域のごみ拾いは継続して行っている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 地域の代表者、区の担当職員や地域包括支援センター職員、生活相談員、認知症対応型共同生活介護について知見を有する方の参加を得て、対面で開催をしている。意見や提案などは、職員会議などで協議してサービスの向上に活かしている。議事録は玄関にファイリングし自由に閲覧できるようにしている。家族の参加が難しい状況となっているので、面会などの折に積極的に口頭で聞くようにしているが、今後、家族の意見や意向などを聴取する工夫をしていく方向にある。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） アフターコロナ観点からメールやファクス、書面などでの連絡が多くなっているが、介護保険更新手続きや事故報告など必要な手続きや報告には出向いている。名古屋介護ネットを毎日確認し連携を図っている。行政の研修や年間の研修予定表を受け取り、対面での参加やリモート参加を選択して研修を行っている。介護フェアーも再開されたが、今年度は参加を見合わせている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日常のケアの中から聴取している。家族からは面会時等に意見や要望を聞いている。また、管理者と職員は、家族と電話やラインを利用して連絡を取り合ったり写真で様子を知らせたりしながら情報交換を行っている。家族からの要望は出来る限り迅速に対応し反映できるように努めている。得た情報は職員ノートに記録しケアに活かしている。面会は予約制で感染対策をしながら対面の面会と一緒に散歩をするなど臨機応変に対応している。フレンズ通信を2か月毎に発行し家族の安心につなげている。意見箱の設置をしている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価			◎

【備考欄】

回覧等で得た情報を基にタイミングや感染対策をしながら地域の神社の行事などに参加したり、地域性を活かし散歩をする中で四季の移ろいを感じるようにしている。また、面会も再開され親子で散歩を楽しんだり、外出できる機会を徐々に広げている。日常的には、図書館で借りた様々な分野の書籍で読書のできる環境を整えたり、家族や友人に手紙を書く支援、趣味の生け花や歌、競馬の好きな方の支援、針仕事でボタン付け、食事の手伝いや洗い物など日常の家事仕事、傘をさしての散歩などを通して今まで培ってきた経験を日常に生かし生活を楽しめるような工夫をしている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	◎							